

志免四だより

平成28年9月
第78号

発行所
志免四公民館
志免町志免1丁目1-8
TEL 092-935-0466
責任者
志免四公民館主事
佐藤一男 (935-0858)



志免四「敬老会」

福祉部

【日時】

9月24日（土） 10時受付 11時開会

【場所】

「松活」

【該当者】

志免四町内会在住の70歳以上の方

【送迎バス】

※会場までの送迎バスを運行します。

J A志免支所・ナフコ粕屋店前 ↓「松活」

参加者名は後日お知らせいたします。



防災訓練

総務部

今回の防災訓練は粕屋南部消防署の防災センターで地震の揺れや風雨の体験を実際に行い、防災について学びます。皆様方多数の参加をお待ちしています。

【日時】 10月2日（日）

10時から12時

【場所】 粕屋南部消防署 防災センター

当日はバスによる送迎を行います。

◆J A粕屋駐車場を9時45分に出発します。

防災訓練



資源物（廃品）回収

環境部

【日時】 9月11日（日）
8時～小雨決行。
（当日雨天時は、9月25日に延期）

【場所】

志免四公民館

・岩崎神社

・各組合の指定場所

ビール缶等はプルタブを取って出して下さい。

石投げ相撲大会

育成部

1年生から6年生までのこども達が夏休みの暑い中、早朝から相撲の練習を頑張っていました。皆様の応援を宜しくお願いします。移動図書館（午前）もあります。

【日時】 9月4日（日）
9時より

【場所】

岩崎神社土俵



光年会

老人クラブのお誘い

◇◇あなたの経験と知恵を生かして◇◇

まずは・・・自分の為に・・・そして身近な人・・・地域のために一緒に活動しませんか

光年会の主な事業活動

1. 毎月1日 岩崎神社の清掃をしています。
2. 町内会の行事には積極的に参加しています。
3. 仲間づくりの一環として、グランドゴルフ、カラオケ、メダカの学校と称して物づくり
4. 誕生会をを年3回（7月・11月・3月）開催しお互いの健康を確認しあっています。
5. 春、秋の研修旅行で親睦を深めます。

【連絡先】 光年会会長 生田 倉松 電話935-2291

うきうきルーム

総務部

今回は歯科衛生士による口腔のお話です。いつまでも美味しく食べられるように自宅でも行える簡単なお口の体操などを行います。皆さまの参加をお待ちしております。

【日時】 9月17日（土）

10時～12時

【場所】 志免四公民館



男の料理教室

食進会

男の料理教室を開催いたします。お父さんお兄さんの参加お待ちしております。



【日時】 9月13日（火）

10時から15時

【場所】 志免四公民館

【問】 090・8666・7941

食進 野見山まで

子育てサロンのて

福祉部

8月9日（火）10時から15時まで、志免四公民館において、6組17名の親子の参加でした。駐車場でビニールプールでの水遊びで楽しみました。



交通安全教室

総務部

8月10日（水）28名の参加者で交通安全教室を開催しました。今回は粕屋警察署より講師を招き、交通事故の現状報告と交通事故の特徴と原因等の話の後ビデオを見て自転車の正しい乗り方と注意の勉強をしました。



中学生交流会

育成部

8月6日（土）17時より志免四公民館駐車場にて中学生交流会がありました。中学生24名小学生11名保護者17名合計で52名が参加し、バーベキューを行いました。準備の途中から雨が降り出し心配していましたが次第に雨もやみみなとおしゃべりしながら楽しく過ごすことができました。みんなお腹いっぱい食べて満足そうでした。



豊夢部屋（ホームルーム）ソーマン流し&親子クッキング

食進会 福祉部

8月20日（土）10時より志免四公民館にて夏恒例のソーマン流しと親子クッキングを開催しました。参加者は保護者29名、子ども37名公民館関係者26名、合計92名。初めに、プラパン作りをしました。それぞれのプラ板に好きな絵を描きトースターで焼いて素敵なキーホルダーを作り持ち帰りました。その後親子クッキングでロールサンドイッチを作り、ソーマン流しでは、ソーマンを頂きながらロールサンドイッチも一緒に皆お腹一杯頂きました。



◆敬老の日の始まり
敬老の日は、兵庫県多可郡野間谷村（現在の多可町）で提唱、行われていた敬老行事の「としよりの日」が始まりとされています。
その主旨としては、「老人を大切にし、お年寄りの知恵を借りて村作りをしよう！」と、農閑期（農作業のひまな時期）にあたり、気候も良い9月15日を「としよりの日」と定めて、敬老会などを開いていたものです。そして、小さな村ではじまったこの慣習が、1950年からは兵庫県全体で行われるようになり、その後には全国へと広がっていったのです。
その後「としより」という表現はあまり好ましくなくという事で1964年に「老人の日」と改称されました。全国的に広がりを見せていたこの動きですが、発祥の地でもある兵庫県多可郡野間谷村では、国に対して、「こどもの日や成人の日があるのに「敬老の日」がないのはおかしい！」と声を上げ続け、「老人の日」と改称された翌年1965年に、「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う日」として9月15日を「敬老の日」とする国民の祝日が制定された。
また、聖徳太子が身寄りのないお年寄りや病人のために「悲田院（ひでんいん）」という、今でいう老人ホームを設立したのが、9月15日だったという事でこの日が「敬老の日」になったという説もあります。